

あ げ お

あなただけにはんきをおくるまち



上尾市

主な内容

審議された主な議案	2ページ
委員会審査、討論	3～6ページ
提出議案・請願とその結果	7ページ
市政に対する一般質問	8～15ページ
今議会で決まった人事	14ページ
委員会活動、意見書	16ページ

議会 だより

ブドウ狩り 園児が挑戦

小敷谷にあるブドウ園で、市内保育所の5才児16人がブドウ狩りに挑戦しました。はさみを上手に使い、たわわに実ったブドウを手にする、子どもたちの「おいしそう！」という歓声が上がりました。

第**178**号
平成28年(2016)
11月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町 3-1-1
電話 048-775-9467

Pick Up

平成28年9月定例会 審議された主な議案

9月定例会で審議された議案は、市長提出議案17件、議員提出議案5件の計22件で、このうち決算認定議案6件を除く13件を原案のとおり可決・同意し、3件を否決しました。

議案第85号 平成28年度上尾市一般会計補正予算（第2号）

平成28年度上尾市一般会計補正予算を可決

歳入歳出補正額 1億3266万8000円

○市内ものづくり企業の販路開拓などを支援

市内のものづくり企業のデータベースを整備・公開するほか、セールスポイントなどをまとめた冊子を作成し、市内外に広くPRすることで販路開拓や取引拡大を支援する

○B型肝炎が定期予防接種の対象疾病に追加

0歳児の定期予防接種の対象疾病にB型肝炎が追加されたことに伴い、予防接種費用などを増額

議案第90号 財産の取得について

新図書館複合施設用地を取得

大字西門前地内の土地約7100㎡を新図書館複合施設建設用地として取得



高規格救急自動車の車内

議案第89号 財産の取得について

大谷分署の救急車を更新

救急現場における高度な救急救命活動に充てるため、高規格救急自動車※を更新

※高規格救急自動車 … 救急救命士が救急救命処置として実施する気道の確保や除細動などを行うための機材を備えた救急車のこと。上尾市では全車両が高規格救急自動車となっている。

※その他の議案名や議決結果については、7ページ「平成28年9月定例会提出議案・請願とその結果」をご覧ください。

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などの審査を行いました。

以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

健康福祉常任委員会

**補正予算
母子家庭自立支援給付金の支給額をアップ**

〈メモ〉 ひとり親家庭の親が就業するために必要な知識、技術、資格を取得するための教育訓練を受ける場合に給付金を支給し、ひとり親家庭の自立の促進を図ろうとするもの。今回、支給上限額や支給期間などが拡大した。

委員 母子家庭自立支援教育訓練給付金と母子家庭高等職業訓練促進給付金の違いについて伺いたい。

答 自立支援教育訓練給付金は、ホームヘルパーやケアマネジャー、医療事務など、仕事に結びつくような技能の向上や資格取得のために教育訓練指定講座を受講した場

合、指定講座の修了後、入学料・受講料の60%を支給する事業である。

高等職業訓練促進給付金は、看護師や准看護師、介護福祉士、保育士など就職に有利な資格を取得するため、養成機関などで1年以上修業をする場合、修業期間中の生活費の負担軽減などのため、市民税課税世帯は月額7万5000円、非課税世帯は月額10万円を最長3年まで支給するものである。

委員 高等職業訓練促進給付金は、生活費の負担軽減などのための給付金ということだが、養成機関などの費用はかからないのか。また、ひとり親家庭にはどのように制度を周知しているのか伺いたい。

答 養成機関などに関する経費は、それぞれの受講者が負担することになる。学費はかかるが、その間の生活費などを保障するという制度になっている。

周知の方法は、例えば、離婚後に相談や手続きのため窓口に来た際に、各種手当や医療などの説明と併せてこのような制度があることを説明しており、働いて自立してもらおうことを念頭に置いて説明している。

都市整備消防常任委員会

**契約の締結
雨水排水機能向上のため雨水管を設置**

〈メモ〉 大字地頭方地内の主要地方道川越・上尾線の地下に雨水管を埋設するもの。

委員 工事の工法について伺いたい。

答 推進工法という工法で、工事箇所起点と終点の2カ所に縦穴を掘り、その間にトンネルを構築して雨水管を整備するものである。

委員 現在行っている工事の内容について伺いたい。

答 現在行っている工事は、公共下水道の雨水管を整備するため、の事前処理である。具体的には、東京電力の地下埋設物が、本工事を進める際の支障となるため、移設を依頼したものである。

委員 工事を予定している箇所は、変則的な交差点で、子どもも通り、事故の多い場所である。工期など、地域の住民に対しての周知について伺いたい。

答 区長に説明を行うとともに、周辺地域の住民などには、請負業者から直接説明するよう指導す

る。不在者には通知文を配布し、問い合わせについては、市と請負業者で対応する。



雨水管整備予定の地頭方交差点付近

総務常任委員会

**その他
土地開発公社を解散**

〈メモ〉 上尾市土地開発公社の保有地について、経営健全化計画に沿った買い戻しが完了したことにより、公社を解散する。

委員 買い戻した土地の今後の用途については、どのように考えているのか。

答 事業用地として継続している土地は、今後の事業の進捗よく

に応じ利用する。早期に事業化に至らない土地については、暫定的に駐車場などで利用する。

また、事業の終了などにより、当初の購入目的が解消している土地については、他の事業用途への移行を検討し、そうした利用もない場合は売却も含めて進めていきたい。

委員 公社の解散時期について伺いたい。

答 議会の議決後、埼玉県知事に解散の認可を申請し、認可を受けて解散となる。時期は平成 29 年 1 月ごろを見込んでいます。

その後清算を行い、清算の結了が、平成 29 年 4 月ごろを予定している。平成 29 年 6 月議会で、経営状況と清算結了の報告を行う予定である。

文教経済常任委員会

**新図書館複合施設
用地の取得**

財産の取得

へメモ 新図書館複合施設用地について、約 2 億 1 8 0 0 万円取得するもの。

委員 質疑で固定資産税の路線価は出されたが、相続税の路線価は出せるのか。

決算特別委員会を設置

議会では、委員 8 人で構成する決算特別委員会を設置し、平成 27 年度各会計歳入歳出決算認定議案 6 件を閉会中の継続審査としました。

委員会では、予算の執行状況などを審査し、結果は 12 月定例会で報告することにしました。

- 委員長** 小林 守利 (新政クラブ)
- 副委員長** 町田 皇介 (上尾政策フォーラム)
- 委員** 新道 龍一 (新政クラブ)
- 委員** 尾花 瑛仁 (上尾政策フォーラム)
- 委員** 新藤 孝子 (共産党)
- 委員** 星野 良行 (新政クラブ)
- 委員** 戸野部直乃 (公明党)
- 委員** 秋山 もえ (共産党)

※議席番号順



決算特別委員会の様子

答 相続税の路線価は、この土地の西側に通っている道路の路線価が出ている。ただし、この価格は道路西側にある市街化区域側の路線価と解釈しているため、今回の取得対象土地である市街化調整区域側の相続税路線価ではないと判断している。

委員 物件補償※の契約は、まだ交渉中だということだが、その理由を伺いたい。

答 今回の用地を買収するには、土地取得と物件補償の二つの契約が必要である。土地の契約については、その取得面積から議会の議決事項となっており、議会の議決がなければ、土地取得の契約はできないため、物件補償の契約に先立って、土地取得の契約をするものである。

委員 物件補償の原則は、今使っている状態を補償するものであり、空き家で使用履歴がないものを、なぜ使用できる建物として補償するのか。

答 物件補償の対象には事務所などがある。現在は使用していない状態であるが、建物は使用可能な状態であると判断できたため、県の補償基準に基づいて、除却工法※での補償ではなく、構外再築工法※での補償に決定した。

※物件補償 市が取得しようとする土地に建物などがある場合、移転の費用を算定し補償するもの。

※除却工法 物件補償の算定方法。建物を移転先で再現する必要がないと認められる場合に、取り壊しの費用だけ補償するもの。

※構外再築工法 物件補償の算定

**市長提出議案に
対する賛成討論**

要旨

議案第 90 号財産の取得について

●新図書館複合施設を本議案の建設予定地とすることについて、約 3 年間にわたり議論してきた。現図書館本館は書架や閲覧席などが不足し、常設の学習室や郷土資料コーナーがなく、バリアフリーも不十分である。23 万都市の図書館本館として、その機能が十分に果たせていないことから、上尾市の最上位計画である「上尾市総合計画」などにも位置付けられ、市の重要な案件の一つとなってきた。幅広い世代の知的好奇心や学習意

欲に応える生涯学習施設として、市民が誇れる新図書館複合施設を整備することの重要性を十分認識することから賛成する。

●図書館本館は築35年が経過し、現本館では本館機能を十分果たせず、施設の充実が必要となったと思われる。ことし2月の市長選挙で、島村市長は新図書館複合施設の建設をマニフェストに掲げ、56・78%の得票率で再選を果たしており、市民から信任を得たところである。ことし3月には基本設計が完成し、本年度は実施設計も着手している。その予算については本年3月議会で議論し可決された。

また、現図書館1階の一部には、上尾地区の分館を整備すると提示されており、現本館利用者はこれまでと同様の図書サービスを受けられる。

さらに、建設予定地である上平公園周辺は、南には小敷谷吉田線が、西には緑丘南線や西門前緑丘線が整備されており、北上尾駅を中心とした地域が、やがて文化の拠点となると考える。新図書館複合施設が一日も早く完成し、多くの市民に愛される新たな文化施設となることを期待し、賛成する。

**市長提出議案に
対する反対討論**

要旨

平成28年度上尾市一般会計補正予算および平成28年度上尾市介護保険特別会計補正予算

●今回のマイナンバー関連事業は国の財源が入っておらず、システム改修に対する国の補助金交付の基準も明確でない。マイナンバー関連に、今後どれくらい税金が投入されるかも不明である。また、プライバシー保護の観点など、制度そのものに対し反対する立場であるため、これらの予算に反対する。

●上尾市は高齢化が非常に早いスピードで進んでおり、介護予防・介護事業には力を入れる必要があるが、実施されなかった介護予防・介護事業の補助金の返還として繰入金計上されている。

また、通所型認知症予防事業対象者の目標数も、非常に少なく設定しているが、それも達成できず補助金を返還している。こうした状況を危惧するため、これらの予算に反対する。

議案第90号財産の取得について

●より良い文化施設としての図書館建設に対する否定はしないが、

本事業は急ぎすぎていると考える。約38億という多額の税金を使う計画に対し、多様な意見がある中、より広く市民の声を聴く機会を設けるべきである。文教経済常任委員会が判明した、物件補償費約5600万円や構外再築工法という算定方法についても、築50年以上の建物に対する妥当な金額、算定方法であるのか疑問が解消されず、本議案は時期尚早と考えるため反対する。

●新図書館用地選定は、利用者目線の慎重な調査やニーズの把握をしないまま、建設を急ぎすぎている。また物件補償については、建物が使用可能な状態であることが

ら除却工法には該当しないのとことであつた。しかし細則には使用可能かではなく、再現する必要の有無で判断するとある。築50年以上の物件に対し、除却工法を採用せず高額な査定になることに對し、市民の理解が得られるものとは考えられない。強引な計画の進め方や、将来財政の不安材料を増やすこと、拙速な用地取得と物件補償費の執行に反対する。

●図書館本館の建て替えは、数十年に1回という貴重な機会であるため、国の補助金などの動向を注視し、建設に最適な時期を判断すべきである。図書館本館の見直しは10年以上前にも指摘したが、市

**本宮市・上尾市
合同議員研修会を開催**

8月25・26日、上尾市と友好都市協定を結んでいる福島県本宮市の市議会議員を迎え、合同研修会を開催しました。初日は、両市ともパークゴルフ場の建設を計画しているため、鴻巣市のパークゴルフ場を視察しました。また、2日目は市内の基幹産業について理解を深めるため、UDトラックス株式会社を視察しました。



パークゴルフ場の説明を受ける議員

は補助金や「より良い図書館」の研究・議論をしてこず、今になって建設を急ぎ、多くの市民が見直しを求めざる事態を招いている。上平への図書館建設には反対しないが、本館を上平に移転することについては反対である。

請願に対する賛成討論

要旨

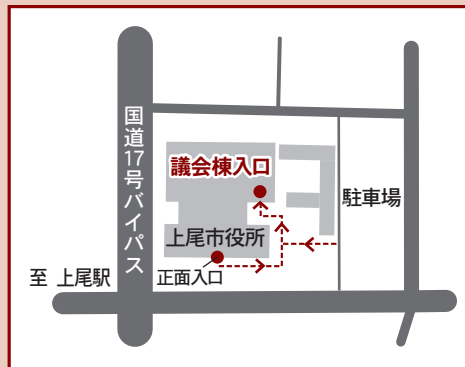
戸崎の公園事業の実施にあたり、上尾市環境基本条例を適用し、適切かつ十分な自然環境の保護・保全策を講じて実施することを求める請願

●平成26年4月に、(仮)戸崎東部公園整備予定地の環境調査を実施するよう要望が提出されたが、市の回答はなかった。市は環境保護団体の強い要望を受け、ようやくことしの3月に意見交換会を実施し、6・7月に専門家や研究家による3回の現場調査を行った。しかし現在も調査中であり、結果の協議もこれからである。

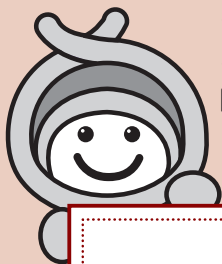
貴重な自然環境の保護・保全策を講じないまま、ほぼ全面をパークゴルフ場に整備することは上尾市の環境基本条例の理念に反するものであると考え、この請願に賛成する。

傍聴にお越しく下さい

本会議は、原則として一般に公開されており、どなたでも自由に傍聴することができます。傍聴を希望する方は、市役所議会議棟5階の傍聴口ビーまでお越しく下さい。受付で住所・氏名を記入し、入場してください。議会の日程など詳しくは市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。



⇒議会事務局 (TEL775-9467)



傍聴時の注意事項・お願い



議場での発言に対して、拍手その他の方法により公然と賛否を表明する行動はしないでください。



携帯電話の電源はお切りください。写真撮影・録画・録音も禁止されています。



談論、高笑、騒ぎ立てるなど、議事を妨害しないでください。



飲食および喫煙はできません。

その他、議場の秩序を乱し、または議事の妨害となるような行為があった場合は、退場をしていただく場合があります。

※詳しくは受付時にお渡しする注意事項を参照してください。

平成28年9月定例会提出議案・請願とその結果

◎市長提出議案（17件）

- 議案第79号 平成27年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第80号 平成27年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第81号 平成27年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第82号 平成27年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第83号 平成27年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第84号 平成27年度上尾市水道事業会計決算の認定について
- 議案第85号 平成28年度上尾市一般会計補正予算（第2号）
- 議案第86号 平成28年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第87号 平成28年度上尾市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 議案第88号 工事請負契約の締結について
- 議案第89号 財産の取得について
- 議案第90号 財産の取得について
- 議案第91号 財産の取得について

- 議案第92号 市道路線の認定について
- 議案第93号 上尾市土地開発公社の解散について
- 議案第94号 教育委員会委員の任命について
- 議案第95号 教育委員会委員の任命について

◎議員提出議案（5件）

- 議第13号議案 「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書
- 議第14号議案 駅構内におけるホームドア等の設置で早急な安全対策を求める意見書
- 議第15号議案 国連平和維持活動の任務拡大となる安保法制の発動をしないよう求める意見書
- 議第16号議案 沖縄県東村高江ヘリパッド（着陸帯）工事強行をやめることを求める意見書
- 議第17号議案 国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書

◎請願（1件）

- 請願第3号 戸崎の公園事業の実施にあたり、上尾市環境基本条例を適用し、適切かつ十分な自然環境の保護・保全策を講じて実施することを求める請願

◎本議会において賛否が分かれた議案・請願

議案（請願）番号	議決結果	新政クラブ										上尾政策フォーラム					公明党			共産党			無党派								
		新道龍一	田中一崇	斎藤哲雄	小川明仁	星野良行	大室尚	新井金作	渡辺綱一	嶋田一孝	小林守利	田中守	尾花瑛仁	浦和三郎	鈴木茂	町田皇介	井上茂	池野耕司	戸野部直乃	前島るり	長沢純	道下文男	橋北富雄	新藤孝子	平田通子	池田達生	秋山もえ	糟谷珠紀	深山孝	野本順一	秋山方ほる
議案第85号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×
議案第87号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×
議案第90号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×
議第15号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 一覧に掲載されていない議案は、全会一致で可決。 ※ ○=賛成 ×=反対 ※議長は採決に加わりません。

<p>9月16日</p> <p>本会議</p> <p>委員報告、討論、採決、議員提出議案の上程、採決、閉会</p>	<p>9月7日・8日・9日・12日・13日</p> <p>本会議</p> <p>一般質問</p>	<p>9月5日</p> <p>委員会</p> <p>文教経済・健康福祉常任委員会</p>	<p>9月2日</p> <p>委員会</p> <p>総務・都市整備消防常任委員会</p>	<p>9月1日</p> <p>本会議</p> <p>提出議案に対する質疑、決算特別委員会の設置、委員会付託</p>	<p>8月29日</p> <p>本会議</p> <p>開会、議案の上程、提出議案の説明、監査報告</p>	<p>9月定例会の動き</p>
---	--	--	--	---	--	------------------------

市政に対する
一般質問

ここが問題 そこが 聞きたい

Q&A

9月定例会の一般質問は、9月7・8・9・12・13日の5日間行われ、22人の議員が市政全般59項目にわたって市当局の見解を求めました。また、5日間で366人の皆さんが議会を傍聴しました。各議員の一般質問の中から一部を掲載しました。詳細は市議会のホームページをご覧ください(11月下旬公開)。

◆まちづくり



新政クラブ
新道 龍一

主要幹線上尾久喜線の整備計画は

問 上尾久喜線とJR高崎線との交差部はアンダーパス工事を進めているが、この交差部は交通量が多く、渋滞も発生しており、解消に向けての工事が急務となっている。このアンダーパス工事のスケジュールを伺いたい。

答 また、上尾市都市計画マスタープランなどで、上尾久喜線の延伸部は構想路線とされているが、この延伸と上尾道路への接続構想について、現在はどのように考えているか。
県にアンダーパスの工事スケ

ジュールについて確認したところ、本年度は測量や地質調査をしながら具体的な工法を検討し、来年度は、計画概要などを取りまとめた予備設計を行い、平成30年度には詳細設計を実施予定とのことである。

また、平成4年に実施した上尾市都市計画道路網構想策定調査によると、上尾久喜線は首都圏の骨格道路として位置付けられており、上尾道路と接続することで主要幹線道路を相互に連結する役割が果たせる。しかし道路網構想策定調査から長年経過しており、広域的観点から上尾久喜線の延伸部なども含め、構想の見直しの必要があると考える。

その他の質問

- ・上尾駅東口駅前交差点をスクランブル交差点に
- ・災害時の体制強化について 他



新政クラブ
星野 良行

第二産業道路の整備について

問 第二産業道路の整備状況と、今後の工事予定および開通予定時期について伺いたい。

また、これらの工事について、地域住民へどのように説明や周知を行っているか。

答 事業者である県によれば、水上公園前の県道上尾蓮田線までの市役所前の県道上尾蓮田線までの事業区間では、約12%の用地が未買収となっている。工事は10月ごろから工事用車両搬入路の整備工事に着手し、11月ごろから一部区間で本体工事に着手することである。開通の予定時期は明言できない状況であるが、当該地区は県の重点整備路線に位置付けられており、早期開通に向け取り組んでいくとのことである。

また、地域住民への周知は、県で定期的に開催している「第二産業道路上尾市原市地区対策協議会」で説明し、工事に着手する際には戸別配布や回覧などにより事前に周知することである。なお、

工事や事業の説明看板は、市民への工事内容・効果の周知に貢献すると考えるため、第二産業道路の工事の際にも説明看板を設置していく。

その他の質問

- ・原市沼調節池の整備について
- ・生活支援課の仕事について



新政クラブ
田中 一崇

西宮下中妻線の道路計画の見直しを

問 現在整備中の西宮下中妻線は、起点である県道川越上尾線との接続部が丁字交差点となる計画であり、この交差点付近には短距離に複数の交差点ができることになる。この不便な状況を解消するため整備計画の見直しを希望するが、見解を伺いたい。

また、起点を西宮下歩道橋交差点に変更した方が交通の流れがスムーズになり、さいたま市方面への延伸の可能性や利便性向上が図られると思うが、変更は可能か。

答 西宮下中妻線の起点は、計画どおり整備した場合、約130メートルの区間に三つの交差点ができることになるため、今後、周辺の



一般質問で取り上げられた路線（点線は整備予定区間）

交通動線の見直しや交差点の集約なども含め、警察と協議していきたいと考える。

しかし西宮下中妻線は、JR上尾駅を中心とした中心市街地を囲む環状道路として計画されたものであり、さいたま市へ延伸する広域幹線道路として位置付けられていない。また、計画を変更する場合、交通量調査や交通解析を実施し、警察と協議を行い、変更可能か検討する必要がある。さらに起点を西宮下歩道橋交差点にした場合には、道路が鋭角に交差する形状となることなどの課題が残る。

- ・ 18歳からの選挙権について
- ・ 新図書館複合施設について

問 第1工区は既に工事が完了している谷津地内から西宮下公園通りまでの約390メートル区間である。第1工区は平成29年度から用地買収に着手し、早期の完了を目指し、事業を進めていく。

答 また、第1工区の工事に伴う工事用車両の搬入路については今後の検討課題であるが、警察と協議を行うことで、一定期間、一方通行の交通規制を解除することは可能である。工事を行う際は安全性・効率性を確保するためにも、この一方通行区間を有効に活用し、一日も早く開通ができるよう事業を



新政クラブ
大室 尚

西宮下中妻線工事計画について

問 西宮下中妻線の未整備区間は、2工区に分けて事業を予定しているとのことだが、第1工区の完成までの予定について伺いたい。

答 また、第1工区には一方通行の区間があるが、工事を一刻も早く完成させるためには一方通行の規制を解除し、工事用大型車両などが直接工事箇所に入れるようにすべきと考えるが、見解を伺いたい。

進めていきたいと考えている。
その他の質問
・ 図書館について
・ ICTについて

◆政策



上尾政策フォーラム
井上 茂

新図書館開館後の現図書館はどうなるのか

問 現図書館の利用状況を分析すると、上尾地区の利用者が圧倒的に多いことが分かる。それを踏まえ、現図書館を一部残し、上尾地区の分館にするとのことだが、市が提示した上尾分館の規模は上尾公民館図書室と同程度としていた。この場合、上尾地区の利用者一人あたりに対する図書館面積は、市内で最少となり、図書サービスの低下を招くと考える。上尾公民館図書室と同程度とした根拠と、上尾地区の図書サービスに対する見解を伺いたい。

答 図書館本館を上尾地区の分館として残す面積については、新図書館複合施設の建設に伴い、上尾公民館図書室がこの施設に統合されることから、過去にはこの図書



日本共産党
上尾市議会議員団
糟谷 珠紀

築51年の物件に約5600万円は市民の理解を得られるか

問 新図書館複合施設予定地に建つ、(株)クライズという会社の事務所と倉庫の物件補償料が、約5600万円になることが文教経済常任委員会でのやりとりで分かった。その金額があまりに高く、築51年の物件にそこまで価値があるのか非常に疑問である。

答 現在ほぼ使われていない物件に対して、ここまで物件補償費が高額になるのは市民の理解が得られるか。むしろ、再築する必要がな

いとして、解体して土地代金プラス補償金を上乘せするぐらいが妥当ではないかと考えるが、合理的な理由を伺いたい。

答 埼玉県の「公共用地の取得に伴う損失補償基準細則」に基づき、建築物の移転料を処理している。事業地内の建物は、現在は使用していない状態であるが、建物は使用可能な状態であると判断できたため、細則第16第1項第2の規定にある除却には該当しない。

そのため、補償は敷地外に移転して建て直す構外再築工法とした。
 ↳その他の質問↳
 ・戸崎地区パークゴルフ場整備計画について



上尾政策フォーラム
浦和 三郎

新部長の経営方針について

問 ことし4月から就任した新部長に、経営方針または部運営の抱負を伺いたい。

答 会計管理者／正確で適正な会計事務を執行するため、出納室職員的能力向上と組織としてのレベルアップに努める。また、公金の安全性・換金性を確保し、最大限

有利な方法で保管・運用する。

総務部長／各職員が住民に身近な行政サービスの担い手としての心構えや、行政運営を行うための経営感覚を身に付けることができるよう、人材育成に努める。市長政策室長／市長マニフェストの実現に向けて全力で取り組み、「住んでみたい」「訪れてみたい」まちを目指してシティセールスの推進に努める。行政経営部長／行政評価に基づく事業の見直しや行革大綱・実施計画に沿った財源確保など、行財政改革を不断に実行した上で、真に必要な施策へは積極的に予算を配分する。健康福祉部長／市民が安心して相談できるような体制を整え、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう福祉の充実に努める。教育総務部長／常にチームワークを意識しながら職務に当たり、学校の安心・安全で快適な環境整備に係る各事業に取り組み、生涯学習やスポーツ活動の充実に図っていく。消防長／消防本部運営の基本は「市民の命を守る」「市民の安全・安心を確実に確保」であり、消防の使命である、火災・救急・救助など災害に対する住民の負託に応え、信頼される上尾消防を目指す。



日本共産党
上尾市議会議員団
池田 達生

(仮)戸崎東部公園の36ホールパークゴルフ場について

問 36ホールのパークゴルフ場建設について、戸崎自治会は全戸対象アンケートを実施し、153戸中144戸の回答があった。賛否の選択形式ではない記述式のアンケートで、自治会がその記述を分類したところ36ホール案に賛成が20件、見直し・反対が47件、その他であった。しかし市が改めてアンケートの記述を分類した結果は、賛成が28件、見直し・反対が27件、その他であった。自治会と市の捉え方があまりに異なるが、いずれにしても自治会が集約した見直し・反対の数には程遠い結果である。市長は3・6月議会で「大勢の人が希望している」という理由で36ホールを推進する答弁をしているが、この賛成少数という結果をどう受け止めるか。

答 36ホールのパークゴルフ場整備に対し反対の意見は確かにあると思うが、多くの地域住民の皆さんはパークゴルフ場を望んでいる。反対の数だけを言っているが、多

くの人が期待を寄せているパークゴルフ場整備を、何としても実現したいと考えている。
 ↳その他の質問↳
 ・上尾市の防災計画について
 ・住宅街の側溝の異臭の改善について



上尾政策フォーラム
池野 耕司

行財政運営の健全化について

問 平成27年度の自主財源比率が前年度と比べ3ポイント減少しているが、その理由を伺いたい。今後、社会保障関係経費が増えていくことを考えると、財政調整基金を積み立てていく必要があると考えるが、上尾市の財政規模として最低どれぐらいの財政調整基金を維持すべきなのか。

答 自主財源比率は、自主財源そのものの額の増減だけでなく、特定財源の多寡によっても変動するものである。平成27年度の自主財源比率が前年度と比べ3ポイント下がった理由は、まず自主財源そのものの要因として、法人市民税法人税割の税率が引き下げられたことが挙げられる。一方、特定財

他市からの行政視察

8月8日／北海道帯広市議会
「特定非営利活動法人ふれあいネット
の取り組みについて」

8月18日／埼玉県深谷市議会
「生活保護行政について」

10月13日／大分県中津市議会
「公共施設等総合管理計画について」

源については、消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金や、子ども・子育て支援新制度に伴う国庫支出金などが増加し、これら双方の要因により比率が下がったところである。

財政調整基金の維持すべき額は、上尾市財政規律ガイドラインで、「年度末の財政調整基金残高について、標準財政規模の1割程度を維持するよう努めること」としている。なお、平成27年度末の財政調整基金残高は38億9476万4000円で、平成27年度の標準財政規模369億1998万円に占める割合は10・5%である。

↳その他の質問

- ・第5次上尾市総合計画の評価と今後の取り組みについて

上尾地区の図書館機能について



公明党上尾市議団
橋北 富雄

問 現図書館本館は、上尾地区の分館の役割も担う身近な施設でもある。新図書館複合施設の建設に伴い、現図書館の一部は分館として残るといふことだが、今後の展開と、上尾地区の図書館利用者の利便性の確保について伺いたい。

また、現図書館が抱える課題と、新図書館建設の必要性について改めて伺いたい。

答 新図書館複合施設建設後、現図書館本館を整備し、1階部分を上尾地区の分館として残す予定である。また、教育センターなどの移転先として、現図書館本館を候補に検討している。上尾地区の図書館利用者については、上尾地区の分館を整備することで、市内全図書館の本の予約・受け取り・返却など、現在と変わらない図書サービスを提供する。

現図書館本館には図書収容スペースや閲覧席・学習席の不足などの課題がある。新図書館複合施設は、生涯学習施設などの機能を

併せ持ち、市民の「知の拠点」として整備することが期待されることから、その必要性を確信している。

↳その他の質問

- ・消防の取り組みについて



現図書館本館

◆子育て・教育



日本共産党
上尾市議会議員団
平田 通子

東町小のプレハブ校舎の 解消で学習環境整備を

問 児童数の増加に緊急に対応するとして建てた東町小のプレハブ校舎は、リース期間が過ぎ築15年経過し、老朽化している。西日が当たり、夏は暑く冬は寒く、窓を閉めても砂が入るなど、学習環境に支障をきたしている。さらに暑

さ対策のため、毎年屋根や壁の断熱工事など780万円がかかっている。東町小の児童数は微増であり、市内の全ての子どもたちが十分な学習環境で学ぶことができるよう、校舎を増築し、プレハブ校舎を早期に解消するよう求めるが、見解を伺いたい。

答 プレハブ校舎はメンテナンスで耐用年数は延びると考えていることから、環境整備に努めていく。市全体では児童数は減少傾向にあり、公共施設の更新・長寿命化を計画的に行う「公共施設マネジメント」の推進が重要であり、校舎の増築は難しいが、児童数の推移や建物の状況を見極めながら、学校施設を適切に管理していく。

↳その他の質問

- ・選挙・投票について
- ・頼りがいあるぐるっとくんにするために

◆くらし



公明党上尾市議団
前島 るり

シラコバト住宅と雇用促進 住宅住民への支援の強化を

問 県営シラコバト住宅の65歳以

上の割合は42・6%であり、市内
 県営4団地の中で一番高い数字で
 ある。また、階数別・年代別入居
 者数を見ると、60歳以上の人が3
 階以上に約330人居住している。
 そのため高齢者に対する支援とし
 て、低層階への転居制度など、各
 種制度の条件緩和を望むところで
 ある。そこで、階段の利用が困難
 な人や車いすを使用している高齢
 者への対策について、市の見解を
 伺いたい。また、市内の雇用促進
 住宅は、国の方針で平成33年度ま
 でに住宅の譲渡、廃止が決定して
 いるが、入居者に対する対応につ
 いて伺いたい。

答 シラコバト住宅に入居してい
 る階段の利用が困難な人や、車い
 すを使用している入居者に対して
 は、快適な日常生活が送れるよう、
 スロープの設置など設備の改修・
 改善について、埼玉県に要望して
 いく。

雇用促進住宅の入居者への対応
 については、特に高齢者やひとり
 暮らしの入居者に対し、今後の見
 通しを含め丁寧な説明を行うよう、
 独立行政法人高齢・障害・求職者
 雇用支援機構に要請していく。

・その他の質問
 ・虐待など、養育に課題のある家

庭に対する支援体制



雇用促進住宅上尾向原宿舎



上尾政策フォーラム
 町田 皇介

**犯罪等に関する情報提供
 のあり方の再考を**

問 市の情報提供の方法について、

住民の命に危険があるものは、重
 要犯罪情報と位置付けて防災無線
 を活用し、それ以外の不審者や詐
 欺関連などの情報は、安心・安全
 メールだけで情報提供を行っている
 。しかしメールマガジンを登録
 していない人がそれらの情報を取
 得するにはどうすればよいのか。
 また、情報が受け取れないことに
 よる犯罪などの二次被害は把握し

ていないようだが、二次被害を防
 ぐためにも、その危険性が想定さ
 れるものについては、メールだけ
 でなく防災無線も活用し、できる
 限り広く迅速に情報提供や注意喚
 起を行うべきと考えるが、見解を
 伺いたい。

答 メールマガジンの登録をして
 いない人への情報提供については、
 より効果的な周知方法を上尾警察
 署と検討していくとともに、メー
 ルマガジン登録者を増やすよう努
 めていきたい。また、犯罪などが
 発生した際に、市民にできるだけ
 迅速に情報提供や注意喚起を促す
 ことは重要なことと認識している。
 防災無線の活用に関しては、「犯罪
 情報の住民提供等に関する協定」
 や「防災行政用無線局運用細則」
 などと照らし合わせながら、効果
 的な運用を図っていきたい。

・その他の質問
 ・行政組織再編後の評価について



上尾政策フォーラム
 尾花 瑛仁

**上尾駅前と西貝塚周辺の
 環境整備について**

問 ①上尾道路延伸でJＲ上尾駅
 東口前の車の流れが変化したので、

再度「スクランブル化」を検討す
 べきではないか。②ムクドリ対策の
 現状と今後について。③西貝塚環境
 センター周辺が廃棄物搬入車両で
 渋滞しているそうだが、検査基準
 と環境影響について伺いたい。作
 業の見直しや職員のスキルアップ
 も必要ではないか。

答 ①現在の「歩行者専用現示方
 式」では本来禁止である斜め横断
 が常態化しており、交錯や青信号
 時間内に渡りきれない危険性があ
 る。指摘された交通環境の変化も
 踏まえ、「スクランブル化」につい
 て、引き続き警察署を通じ県公安
 委員会へ要望していく。②ケヤキの
 剪定直後は一定の効果はあるが、
 抜本的対策には至っていない。鳥
 が嫌う音を流す方法も有効打には
 ならなかった。道路清掃は毎日行っ
 ているが、騒音の測定は実施して
 いない。剪定の回数や時期などの
 効果的な対策について情報収集し
 研究したい。③手引きに基づき職員
 が検査している。渋滞は一般家庭
 ごみの搬入増が原因と考えられ、
 産業廃棄物などの混載や検査時間
 も減少していることや、投入口が
 六つ確保されていることなどから
 影響は小さいと評価している。職
 員については今後もスキルアップ

に取り組みたい。
 ～その他の質問～

- ・災害ハザードマップの有効性
- ・水上公園・公有施設の有効活用
- ・地域で支え合う高齢社会



上尾駅東口駅前交差点



公明党上尾市議団
 長沢 純

医療機関までの公共交通機関の確保について

問 市は、地域公共交通網形成計画などに基づき、ことし2月から市内循環バス「ぐるっとくん」の新たなルートでの運行を開始したが、実際に運行が始まると市民からは便利になったと喜ぶ声や路線増の要望など、さまざまな意見が寄せ

られている。

そこで、地域公共交通網形成計画における通院支援について、どのように検証したのか伺いたい。また、デマンド運行※の検討についてはどのような状況か。

※デマンド運行 予約があった時のみ運行する方式で、運行方式、発着地の自由度の組み合わせにより、多様な運行形態が存在する。

答 計画では、民間路線バスと「ぐるっとくん」の役割分担のもとに、病院を含めた新たな公共施設などへの路線拡充を行っていくことを位置付けた。その結果、埼玉県立がんセンターへは、朝日自動車が開線拡充し、現在上尾駅東口から平日50本以上運行している。デマンド運行については、本市のような20万都市では困難とされている。そのため、狭い道路でも通行可能な小回りのきくタクシー車両を活用して、バスと同じく定時路線運行を行う乗り合いタクシーについて、さいたま市などの事例も参考に調査研究を進めていく。

～その他の質問～

・がんと共に生きる社会をめざして
 ・介護ボランティアポイント制度の推進について

◆健康・福祉



無会派
 秋山 かほる

介護予防の新総合事業を市民に知らせる時期は

問 平成29年4月から要支援者に対する介護予防給付については、新しい総合事業という形に移行する。地域で多様なサービスが提供され、サービス内容に応じた利用料を市が設定することになる。10月ごろに市の総合事業の骨子案が策定されるということであるが、どのような事業を実施するのか広報で特集すべきである。何月号の広報が適当であると考えているか。また、来年3月に予定している「在宅医療・介護連携推進シンポジウム」は、非常に重要だが、多くの市民が参加できないと思うので、開催結果を市民に周知すべきだと思うが、見解を伺いたい。

答 新しい総合事業についての事前周知は、2月号の広報が適当な時期と考えている。シンポジウムは、在宅医療と在宅介護の現状や将来について話し合う貴重な内容なので、開催結果については『広

報あげお』で周知していく。
 ～その他の質問～

- ・学校給食の地産地消、食育
- ・上平地区に図書館本館を移転する問題について



上尾政策フォーラム
 鈴木 茂

地域包括ケアシステムについて

問 平成29年度から、要支援1・2の人の介護予防給付や介護予防事業が、住む地域によりサービスが異なる介護予防日常生活支援総合事業に移行することだが、その趣旨と、要支援1・2の人が希望すれば、今までどおり従来の訪問介護や通所介護のサービスが受けられるのか伺いたい。

また、新たなサービスが加わると聞いたが、具体的にはどのようなものか。

答 総合事業の趣旨は、要支援者の訪問介護や通所介護を多様化し、ボランティアの活用、介護サービスの担い手不足の解消、支援を必要とする高齢者の介護予防と生活支援を総合的に提供する仕組みづくりを推進するものである。現在の要支援者は、希望すれば現行の

訪問介護や通所介護のサービスを継続して利用できる。新たなサービスの具体例は、介護事業所の市認定ヘルパーによる生活援助やミニデイサービス、NPO法人や住民ボランティアによる地域の助け合いサービスや地域サロンなどである。また専門職が短期集中的に介入するサービスとして、現行の2次予防で実施している通所型介護予防の元気アップ教室や、訪問介護予防のほのぼの元気事業を想定している。

・その他の質問
 ・新図書館について



日本共産党
 上尾市議会議員団
 新藤 孝子

新総合事業により介護保険を後退させないために

問 来年4月から始まる新総合事業で、ホームヘルパーなどの専門的な資格を持っていない人が生活援助やミニデイサービスを提供する「サービスA」について、ヘルパーに一定の研修を行ってほしい。無資格の人が生活支援として訪問しても、訪問先で認知症の人の対応などをする場合もあり、仕事に身体介護との境目があるわけではな

いため、一定の研修や基準が必要ではないかと考えるが、見解を伺いたい。また「サービスA」を利用したときの事故についてはどのように対応するのか。

答 市認定ヘルパー制度における専門的な資格をもっていない人の研修は、その研修科目について地域包括支援センターと介護サービス事業所に意見を聴取している。これらを基に社会福祉協議会と研修科目を検討する。無資格者による「サービスA」提供時に起きた事故については、介護サービス事業者と利用者との契約に基づいて対応する。

・その他の質問
 ・非核平和宣言都市にふさわしい取り組みを



日本共産党
 上尾市議会議員団
 秋山 もえ

手話言語条例の制定と専任手話通訳者の増員を

問 ことし4月から施行された障害者差別解消法の目的は、障害の有無にかかわらず、誰もが分け隔てなく互いを尊重できる豊かな共生社会の実現である。この法律に基づき、地方公共団体は障害を理

今議会で決まった人事

教育委員会委員に

おかだ えいいち
岡田 栄一 氏

教育委員会委員 岡田栄一氏の任期は平成28年9月30日で満了となるため、同氏を再び任命することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

教育委員会委員に

おおつか たかゆき
大塚 崇行 氏

教育委員会委員 吉田るみ子氏の任期は平成28年9月30日で満了となるため、後任として大塚崇行氏を任命することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

由とする差別を禁止する法的義務を負うことになり、障害者への合理的配慮が求められる。

ことしの埼玉県3月議会で、埼玉県手話言語条例が成立した。現在条例を制定している自治体が全国で52自治体まで広がっている。上尾市においても手話言語条例制定に向け動き始めていた。だが、制定の必要性について市の見解を伺う。

また、現在2名体制の専任手話通訳者については今後増員してほしいが、見解を伺う。

答 条例制定の必要性は、認識している。ろう者の方々の意見を聞き、先進事例も参考にしながら、検討を進めていきたい。専任手話

通訳者については、派遣事業を委託している社会福祉協議会の職員配置やジョブ・ローテーションの問題など、社会福祉協議会に確認をとりながら課題を洗い出し、検討したい。

・その他の質問
 ・かいぼりによる丸山公園の大池水質改善とだれもが利用しやすいトイレへ改善を 他



無会派
 深山 孝

民生委員の負担軽減を

問 民生委員・児童委員活動は、児童虐待防止から高齢者の安否確

認まで多岐にわたり、負担軽減の必要性を強く感じるが、負担軽減策について見解を伺いたい。また、新たに導入する民生委員協力員制度とはどのようなものか。

答 民生委員・児童委員の負担軽減を図ることは急務であると捉えている。対策として本年度当初から、各地区の民生委員協議会や専門部会に健康福祉部各課の地区担当職員が参加し、民生委員との協力を強化することで、民生委員が懸案を抱え込まず安心して活動できるよう努めている。今後は、民生委員向けのメンタルヘルス研修や、民生委員が気軽に相談できるサポート体制を整えていく。

また、新たに導入する民生委員協力員制度とは、民生委員活動の一部を民生委員に代わって協力員が行うものである。すでに導入している他市の事例では、民生委員のOBや保育士などの専門職が協力員として参加し、民生委員活動を支えている。市としても、より良い仕組みづくりのため、引き続き調査、検討していく。

その他の質問

- ・ 学童保育について
- ・ 環境対策について
- ・ 選挙関連について



公明党上尾市議団
戸野部 直乃

地域・行政が一体となった買物支援を

問 高齢化が進む中、買い物支援は地域と行政が一体となって取り組むべき課題であると考ええる。有効な手段としては、コミュニティバスなどの移動手段の支援や、家まで商品を宅配することが可能な事業者の案内の配布、身近にある商店街の活性化などが考えられるが、見解を伺いたい。

答 移動手段支援としては、ことし2月に「ぐるっとくん」を再編し、全ての路線をJR上尾駅発着とし、中心市街地への移動の利便性向上を図った。宅配可能な事業者の案内配布は、インターネットを利用しない高齢者に有効である一方、事業者による宣伝が行われていることや対象者が限定的であることが検討課題と考える。また、商店街が抱える店主の高齢化や後継者不足などへの対策として、市と商工会議所で連携し、商店街活性化イベントの開催や、経営に関する相談の受け付けなどを行っている。また、商店街が行う販売

促進事業に対する助成や、街路灯など環境整備に対する補助金を交付している。今後も商店街の実情に応じた支援を関係機関と連携し継続していく。

その他の質問

- ・ 投票所について
- ・ 食品ロス削減について

◆環境・産業



公明党上尾市議団
道下 文男

上尾市ものづくり施策について

問 産業振興会議の発足からの取り組みと、今年度の取り組みはどのような内容か。また、中小企業サポート事業と、農商工観ポータルサイト「あげポタ」の実施状況について伺いたい。

答 産業振興会議はこれまで、上尾市創業支援事業計画の策定と産業支援施策の実施、スポーツ大会など上尾を訪れる学生に対するアンケート調査などに取り組んできた。本年度は、地元農産物を使ったレシピの作成や、市内の小・中学校とものづくり企業との連携状況調査、所沢市の現地調査と意見

交換を行う予定である。中小企業サポート事業は、市職員と市が委嘱したコーディネーターが市内企業を訪問し、課題の解決に向けた支援を行うものである。本年度は「ものづくりのまち上尾推進事業」として、市内ものづくり企業の実態調査を行う予定である。農商工観ポータルサイト「あげポタ」は、ことし8月末時点での登録事業所数は461件で、アクセス数は昨年度と比べて伸びている。今後もサイト内容の充実と活用促進を働きかけていく。

その他の質問

- ・ 上尾市の市民参加による事業推進について
- ・ 障がい福祉施策について



農商工観ポータルサイト「あげポタ」のトップページ



12月定例会日程(案)

- 12月 1日 開会
- 6日 質疑、委員会付託
- 7日 委員会
(総務、都市整備消防)
- 8日 委員会
(文教経済、健康福祉)
- 12日～16日 一般質問
- 21日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

委員会活動 H28.7.16～H28.10.15



▲健康福祉常任委員会の様子



▲総務常任委員会の様子

*** 次回の12月定例会は、12月1日(木)に開会の予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、11月25日(金)までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス
<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>

議会報編集委員会

- 委員長 斎藤 哲雄
- 副委員長 鈴木 茂
- 委員 新道 龍一
- 委員 田中 一崇
- 委員 尾花 瑛仁
- 委員 小川 明仁
- 委員 戸野部直乃
- 委員 池田 達生

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	7/20	・所管事務調査「上尾市のシティセールスについて」
	9/2	・9月定例会提出議案2件を審査
文教経済常任委員会	8/2	・所管事務調査「新図書館複合施設の外観について」
	9/5	・9月定例会提出議案2件を審査
都市整備消防常任委員会	9/2	・9月定例会提出議案6件、請願1件を審査
健康福祉常任委員会	7/19 9/5	・所管事務調査「生活保護について」 ・9月定例会提出議案2件を審査
議会運営委員会	8/24～ 9/16	・議会運営について協議(協議回数6回)
議会改革特別委員会	9/23	・今後の協議方針、協議事項について
決算特別委員会	9/1	・正・副委員長の互選および審査方針の決定
	9/26	・一般会計のうち歳入および歳出(総務関係)について審査
	9/27	・一般会計のうち歳出(総務、健康福祉、環境経済関係)について審査
	9/28	・一般会計のうち歳出(教育、都市整備消防関係)について審査
	9/29 10/4	・財産に関する調書、特別会計について審査 ・水道事業会計について審査、総括
議会報編集委員会	7/19	・「あげお議会だよりNo.177」の内容について協議
	9/16	・「あげお議会だよりNo.178」の内容について協議

意見書2件を原案可決

9月定例会最終日の9月16日、議員提出議案として意見書5件を提出し、2件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長

◆駅構内におけるホームドア等の設置で早急な安全対策を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 国土交通大臣 衆議院議長 参議院議長